

【様式 1 - 1】

実施要領等に関する質問への回答

No	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
1	仕様書	P2	ウ事業運営 ①実施概要 ・リアルツアー規模 各回20名程度	募集定員20名の場合、最小催行人員15名と想定し、参加者が集まらない場合、中止もあり得ますが、問題ございませんか。	ツアーの事前告知等を実施した上で、最少催行人員が集まらない場合の中止は、やむを得ないと考えます。
2	仕様書	P3	ウ事業運営 ②内容 ・ツアーで使用する三陸の 食材や生産者の映像コン テンツを作成すること。	メニューの完成次第では、撮影・編集・納品ができない場合もございます。完成時期にもよりますが、1回当たり1生産者60秒から90秒、または、前回までの映像編集でも問題ございませんか。	映像コンテンツは、産地見学ができないところを中心に作成していただくものです。 1生産者 60秒～90秒に編集すること、及び、前回までの映像編集を含めることは問題ありません。
3	仕様書	P3	ウ事業運営 ②内容【リアルツアー】 ・リアルツアーの内、2回 は三陸鉄道を使用した企 画を盛り込むこと。	列車内で弁当形式にして食べるイメージでしょうか。 三陸防災復興プロジェクトでは「三陸プレミアムランチ列車」を運行し、賛否両論の笠原シェフによるものを提供していましたが、継続性がなく、一過性のものでした。 現実的には、三陸鉄道が普段から行っている「プレミアムランチbox」の旅、駅-1グルメ旅に産地を加える等の方が継続の可能性が高いと考えますが、問題ございませんか。	列車内での弁当の提供は必ずしも行う必要はありません。 今後の継続性を踏まえ、三陸鉄道が実施しているものを活用いただくことは問題ありません。 ただし、三陸鉄道を含むリアルツアーでは、三陸鉄道乗車外で、フュージョンディナー等、フュージョン料理イベントを開催いただきます。
4	仕様書	P3	ウ事業運営 ②内容【リアルツアー】 ・産地見学等の体験を盛り 込むこと。 ・産地の映像コンテンツを 活用し、生産者の立場から 食材の魅力を伝えること。	バス等の中で映像をみせ、現地で生産者の視点でお話していただくと、料理人の視点でのお話がないため、食材の魅力を引き立てる事が難しいのではと思います。 料理人が同行すると経費も出てまいります、予算内での配分は可能でしょうか。	料理人がツアー同行する経費は、予算内で配分可能です。

5	仕様書	P3	<p>ウ事業運営</p> <p>②内容【リアルツアー】</p> <p>・1回は外国人(英語圏)の参加を想定とし、英語通訳・翻訳など、産地見学等の体験を盛り込むこと。</p>	<p>限られた予算内で、告知素材を増やすことは厳しいと考えます。県内在住の留学生はアジア圏が多く、英語・日本語を話せる方もおります。</p> <p>1回のツアーで最小催行人員を集めることは難しく、ツアーの中に外国人も参加でも可能でしょうか。</p>	<p>外国人参加を想定したリアルツアー1回は、参加者に日本人、外国人とも含めることは可能です。</p> <p>ただし、その回は、英語通訳・翻訳等の対応をお願いします。</p>
6	仕様書	P3	<p>ウ事業運営</p> <p>②内容</p> <p>【オンラインツアー】</p>	<p>ご自宅で県産食材を楽しめないとオンラインツアーとしては成立しないと思います。</p> <p>例えば、プロの料理人による県産食材を活用したメニュー講習会等、専門学校生徒や高校生の参加といった内容でも可能でしょうか。</p>	<p>オンラインツアーは自宅で県産食材を楽しむことを想定しています。</p> <p>プロの料理人による県産食材を活用したメニュー講習会形式や、学生の参加は可能ですが、オンラインへの対応もお願いします。</p>
7	仕様書	P3	<p>ウ事業運営</p> <p>②内容</p>	<p>今回の委託事業は、今後のツアー商品となるような、商品の企画開発費を経費として認識することで良いか。</p> <p>つまり、下記は一般参加者からの参加費にツアー商品の経費として含む(=今回の精算内訳書の内容に含まない)で良いか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理・飲み物代 ・会場代(必要な場合) ・生産者訪問のための交通費及び当日謝礼 ・旅行代理店の取り扱い手数料など ・三陸鉄道使用料もしくは切符代 	<p>委託事業は、商品の企画開発費や著名料理人の招聘費・旅費、会場費等を経費として想定しています。</p> <p>一般参加者からの参加費に、ツアー商品の経費を含むことは可能ですが、前述の費用(会場費等)を含めることは不可です。</p>